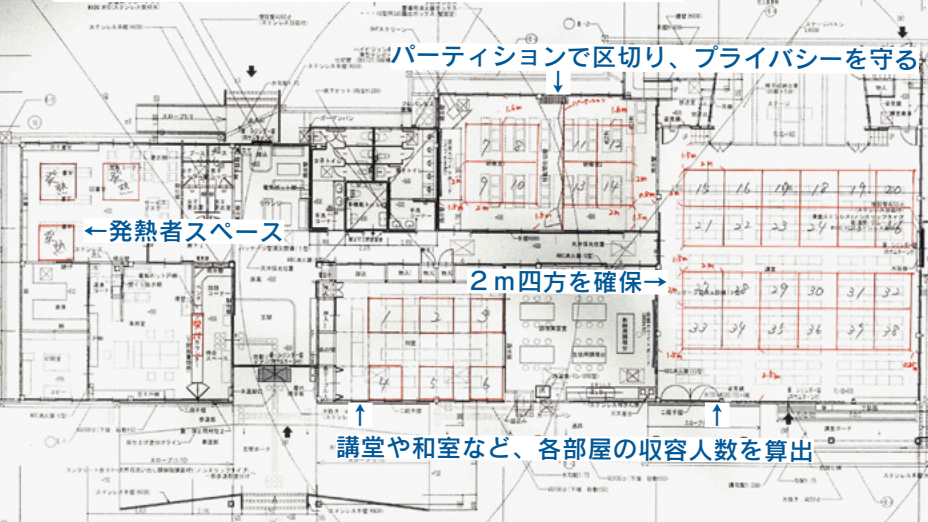


大川コミュニティセンターの平面図



防災危機管理課では、6月3日から12日まで各コミュニティセンターをまわり、避難所における感染症対策の確認を行いました。

これは、新型コロナウイルス感染症がまん延している状況で、自然災害時に避難所を開設する場合には、感染症対策に万全を期することが重要となることから実施したものです。避難所での居住スペースとなる講堂や和室では、テープを貼って収容人数を可視化し、平面図に落とし込むなどして、安全・安心な避難所の確保に努めています。

詳しくは、QRコードから動画を見ることができます。(6月10日撮影)

動画はこちらから→



避難所における感染症対策



↑受付では、避難者の体調をチェックする手順を確認



↑コミュニティセンターの講堂を2m四方に区切る作業の様子



↑テープを貼り、収容人数を可視化



↑通路を確保したうえで、避難者同士の間隔を確認



↑就寝時もソーシャルディスタンス



↑コミュニティセンターの平面図に区画割りを書き、収容人数を確認



人の動き

令和2年6月1日現在

- 人口 54,188人 (- 19)
 - 男 26,240人 (+ 5)
 - 女 27,948人 (- 24)
 - 世帯 23,496世帯 (+ 11)
- () は前月比

この冊子は、1部当たり約30円で作成しています(人件費など間接経費は含まれていません)。また、企業広告による掲載料は、広報伊万里の作成費の貴重な財源となっています。

「絶対」に込められた、前向きな想いに感動しました。今月の紙面でも、『新型コロナウイルス』という言葉がたくさん使いましたが、どの記事も前向きな情報となっています。前に向かって進みましょう。『#負けるな』。(美)

今月の記事の中に、『#コロナに負けるな』という言葉がありますが、高校野球の夏の甲子園大会が、春のセンバツ大会に続き、中止となりました。中止の発表後、ある甲子園出場の常連校の野球部キャプテンが出したコメントを見ました。この悔しさは、これからの人生に絶対活きてくると思う。どんなことがあっても、こんな辛い想いは、二度としないと。この悔しさをこれからの野球人生に、絶対につなげていきます。」

編集室から

●発行日/令和2年7月1日

●発行編集/伊万里市情報政策課シティプロモーション推進室 ☎(0955)23-4313(直通) 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1

●伊万里市のホームページ <https://www.city.imari.saga.jp/> ●印刷/山口印刷株式会社